



松波城



主郭に「松波城址」碑が建っている

所在地：石川県鳳珠郡能登町松波
 別称：聴松山緑ノ城、松鶴山松波城
 立地：丘陵先端、標高30m
 城主：松波氏（能登畠山氏庶流）
 時期：室町、戦国
 見学時間（参考）：約30分

松波川左岸の丘陵に占地し、東麓を内浦街道が通る。昭和39年全線開通した国鉄能登線（のちのJR西日本能登線・のと鉄道、平成17年廃線）により、丘陵先端部が分断され城跡の一部が消失した。そのすぐ西側の曲輪での後年の発掘調査で庭園遺構が発見され、



南麓の登城口

幸いにも破壊を免れた枯山水庭園遺構は平成24年に国名勝に指定されている。上流から下流にかけて大小19の景石を配置し、それらを結んで緩やかに蛇行するかの如く円礫（まるつぶて）を敷き詰め、山間部の清流を表現する他に類例を見ない意匠・表現方法の枯山水庭園である。主郭は二郭で構成する点が珠洲市の飯田城や小太郎城と共通する。



南麓を流れる松波川

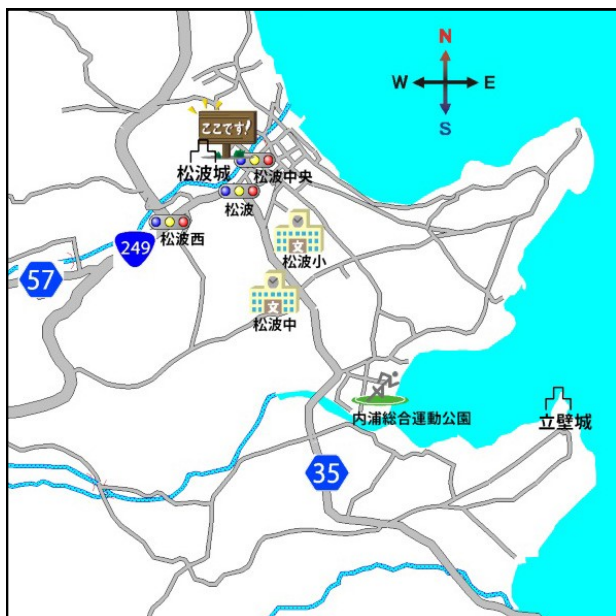
故墟考は文明6年（1474）能登国守護3代畠山義統の三男常陸介義智が松波に入部したと伝える。天正5年（1577）七尾城を攻略した上杉謙信は、松波城に籠城する松波義親を長沢筑前守に攻めさせ落城した。松波城最後の城主となった義親は、能登国守護9代畠山義綱の三男とされ、落城のとき討死したとされる。若山荘木郎郷の有力国人であった松波氏の名跡を地盤固めに畠山氏が継いだと考えられている。



城跡を分断する旧能登線



二郭の主郭間の堀切



庭園遺構の北側丘上の櫓台



主郭北側裾の横堀と土塁

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>